



# かしのみ通信

H29-第5号 (累計27号)  
平成29年6月27日  
青森工業高校定時制生徒会

東奥日報 平成29年6月26日

## ものづくりマイスター派遣事業

県職業能力開発協会が主催している「ものづくりマイスター派遣事業」の1環で昨年度から実施しています。2年生を対象にした木材加工作業の基本を学ぶ授業では、元職業訓練校指導員の越山さんを講師にむかえ、木工継手の基本である「追掛大柱継ぎ」の製作に奮闘中です。また1年生を対象に今年度新たな「タイル張り」の授業も取り入れました。匠の技に触れる貴重な体験となりました。

### 「匠の技」習得へ一歩

青森市青森工業高校定時制工業技術科の1年生7人が19日夜、技能研修の一環として、同校でタイル張り作業を体験した。生徒たちは、プロの職人の指導を受けながら「匠の技」の一端に触れ、ものづくりへの意識を高めた。



職人たちの指導を受けながら、タイル張りに挑戦する生徒たち

同校生徒のタイル張り作業は、県職業能力開発協会が2014年度から行っている「ものづくりマイスター派遣事業」を活用して行われた。同協会によると、タイル張りに関する講師の派遣は初めてだという。当日は、熟練技能者として、ものづくりマイスターに認定された前田啓史さん(50)―青森市タイル組合会長、木村隼さん(39)―同幹事長―ら職人8人が講師役を務める中、生徒たちが、東京駅の外壁や学校のトイレの壁をイメージした実践的なタイル張りに挑戦した。

生徒たちは、へらを使って壁板にのりを塗る作業の序盤から悪戦苦闘。それでも職人からアドバイスを受けムラが出ないようにのりを塗り、仕上げとして、金

づちの柄を使い、一定の間隔を保ちながらタイルを張りつけた。大淵由宣さん(15)は「職人さんたちは、スピードと正確さがやはりすごい。とてもやりたかった仕事なので勉強になった」と笑顔を見せた。同組合によると、タイル張りも他の伝統技能と同様に高齡化などによる人材不足が悩みの種という。木村さんは「生徒の中から職人が誕生してくればうれしい。今後も派遣事業に協力したい」と話した。同校では26日も、同科の別の1年生7人が同様の体験作業を行う予定だ。(安達一将)



今年度から実施したタイル張りの作業では、青森市タイル組合に加盟する職人さんに指導していただきました。本校の玄関やトイレなども施工した業者さんです。1年生の皆さんには将来の職業選択のひとつに考えてもらえば幸いですと話していました。



#### 【今後の行事予定】

- 7/4〜6 期末考査
- 7/7 性教育講座
- 7/14 遠足
- 7/18 金曜日の授業
- 7/21 1学期終業式

#### 【ものづくり特別授業】

6/29 2年次③

